

大学等への修学支援の措置に係る学修計画書(記入例)

申請者 氏名	フリガナ	学生が記入する部分は淡黄色になっています。淡い黄色部分のみ記入してください。		
学部・学科・学年	学部	学科	年	学籍番号

1. 学修の目的(将来の展望を含む。)

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の(1)から(3)を参考にしつつ、その内容を記述してください。(200字以上)

- (1) 将来に就きたい職業(業種)があり、その職業(業種)に就くための知識の習得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身につけるため。

(記入上の注意)

- 学修の目的を明確に述べているか。
- 学修の目的を自分の言葉で述べているか。
- 卒業後の将来の展望が述べられているか。
- 社会で自立し、活躍できる希望があるか。

以上の全部を書く必要はありません。
 どれか一つの条件は満たすように書いてください。

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までにどのようなことを学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。(200字以上)

(記入上の注意)

上記の学修の目的を踏まえ、これまでに何を学び、
 今後、何をどのように学びたいか、自分の言葉で書いてください。

3. あなたは卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。次の項目から該当するものに✓を記入してください。

卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。

卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。」を選択した場合、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200字以上)

(記入上の注意)

- 卒業までしっかり学修しようとする意思がある、
 - しっかりと学ぼうとする意志がある、
 - その他、学修の意欲が十分ある、
- 上記のいずれかが伝わるように書いてください。

注) 記述しきれない場合には、別紙に記述の上添付してください。

あまりにも大きい文字で記入したり、行間を常識外に広くとって記入した場合も、別紙添付を求めます。

以下、本人・保証人署名欄

- 採用後は、毎年行われる適格認定において、【学業成績・学修意欲に関すること】
【家計の経済状況に関すること】の審査があり、判定結果によっては、支援の廃止や
停止、または支援区分・支援額の変更があることを承知しています。

西暦 _____ 年 ____ 月 ____ 日 申請者氏名 _____

保証人(父または母)氏名 _____

今回の申請結果が、卒業までの継続を保証するものではないことを承知して署名捺印していただきます。

以下、教員記入欄

		印
1	この欄は大学で処理しますので、記入しないでください。	印